

(プレスリリース)

令和8年1月23日（金）

知事コメント

本日、防衛省から令和8年度の在沖米海兵隊による「沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練」の計画が発表され、令和9年1月から3月までの間に、日出生台演習場において実施されることが明らかとなりました。

当訓練についての本県の基本的スタンスは、将来にわたる縮小、廃止ですが、訓練が実施される以上、国には、地域住民の不安の解消と安全確保のため万全の対策を講じてもらいたいと考えています。

また、昨年末に国から「使用火器の見直し」の方針が伝えられましたが、これについては、現在、見直しが具体的にどのような地元の負担軽減につながるのかを確認しているところです。

県としては、引き続き関係市町との連携を密にし、県民の不安の解消と安全確保に努めてまいります。